

平成 30 年度

学生生活満足度調査報告書

2 年生

金城大学短期大学部
学生部

目 次

I. 学生生活満足度調査について	1
II. 調査結果	
(1) 【学修支援について】(問1～2)	2
(2) 【学校生活支援について】(問3～4)	3
(3) 【就職進学支援について】(問5～6)	4
(4) 【キャンパス環境・施設・設備について】(問7)	5
(5) 【短大生活の総括】①2年間の学修成果について(問8～15)	13
②進路について(問16)	17
③学校生活について(問17～22)	17
III. 自由記載	20
IV. 今年度の結果について	22

I. 学生生活満足度調査について

本調査は、これまで本学卒業直前の学生を対象に実施しているアンケート形式の調査である。授業から設備、人間関係に至るまで学生生活全般について、四段階で満足度を調査している。平成19年には『学生生活満足度調査による自己点検評価報告書』を作成し、調査結果の詳細な分析を行った。

平成23年には設問を全面的に見直し、またマークシート方式ではなくウェブ上での入力とした。さらに設問ごとに自由記載の項目を設け、学生の意見を幅広く収集できる様式とした。

今回の調査の実施日、実施方法、対象者、回答者数等は下記の通りである。

○実施日

平成31年1月15日（火）～2月9日（土）

○実施方法

必修授業の最終回、もしくは必修授業の試験終了後、授業担当教員または試験監督の教員が学生をコンピュータ室へ誘導し、事務担当者がウェブ入力による回答方法を教示したうえで、後期の授業アンケートとあわせて学生生活満足度調査への回答を依頼した。なお、2年生担任は、これらの調査等の実施について、学生に対して事前告知を行い、回答者としての意識を喚起した。

○対象者

金城大学短期大学部 2年生 343名

○回答者数（学生数、回収率、昨年度の回収率、一昨年度の回収率）

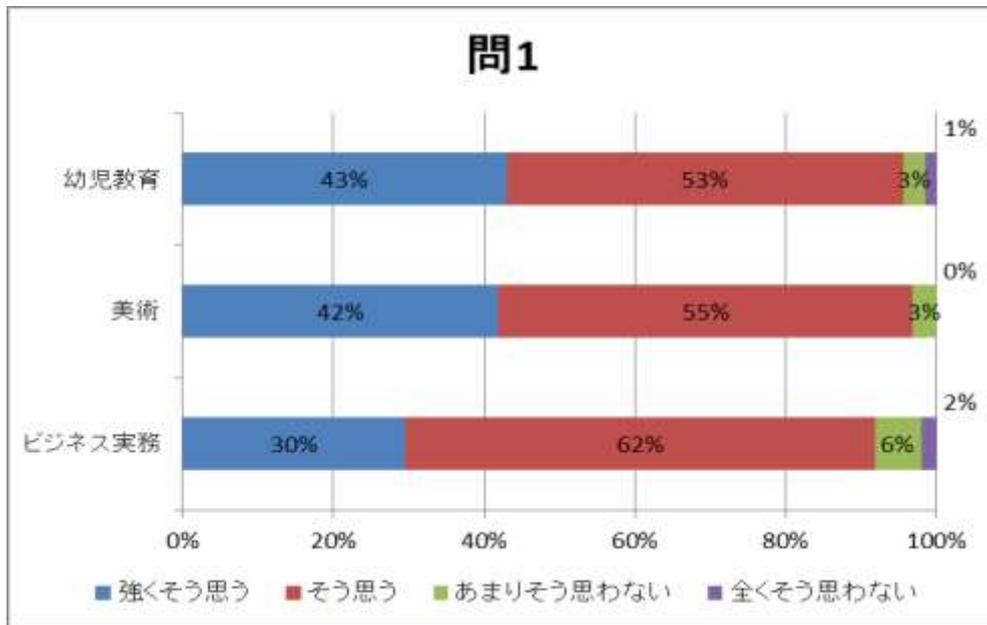
ビジネス実務学科	： 98名（113名、86.7%、94.9%、100.0%）
幼児教育学科	： 62名（68名、91.1%、89.0%、69.4%）
美術学科	： 137名（162名、84.5%、74.6%、87.8%）
合計	： 297名（343名、86.5%、88.2%、84.2%）

全体の回収率は86.5%と昨年度（88.2%）と比べて減少した。

II. 調査結果

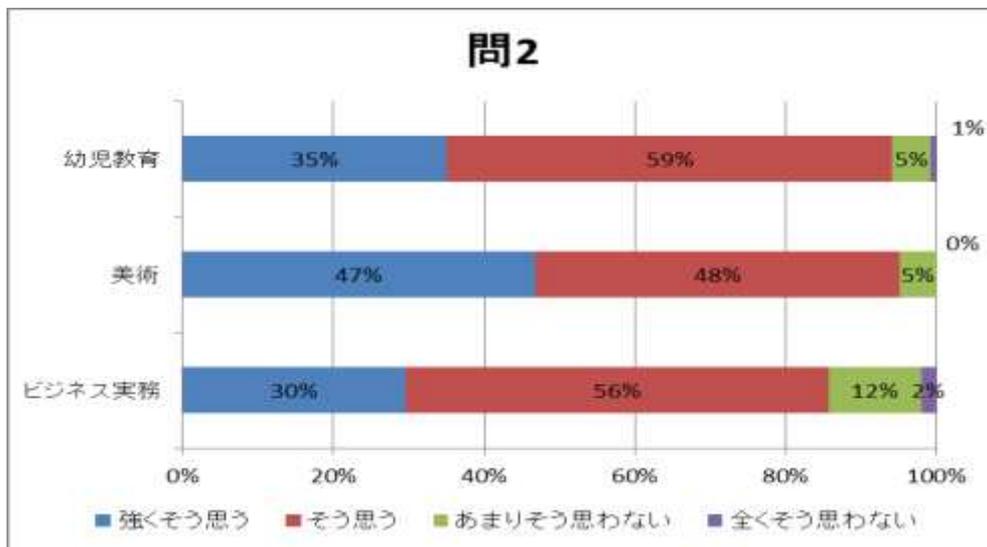
【学修支援について】

問1. 2年間の授業内容に満足できた



全学科で90%以上の学生が肯定的回答（「強くそう思う」、「そう思う」）を選択しており、学生の満足度は高い。

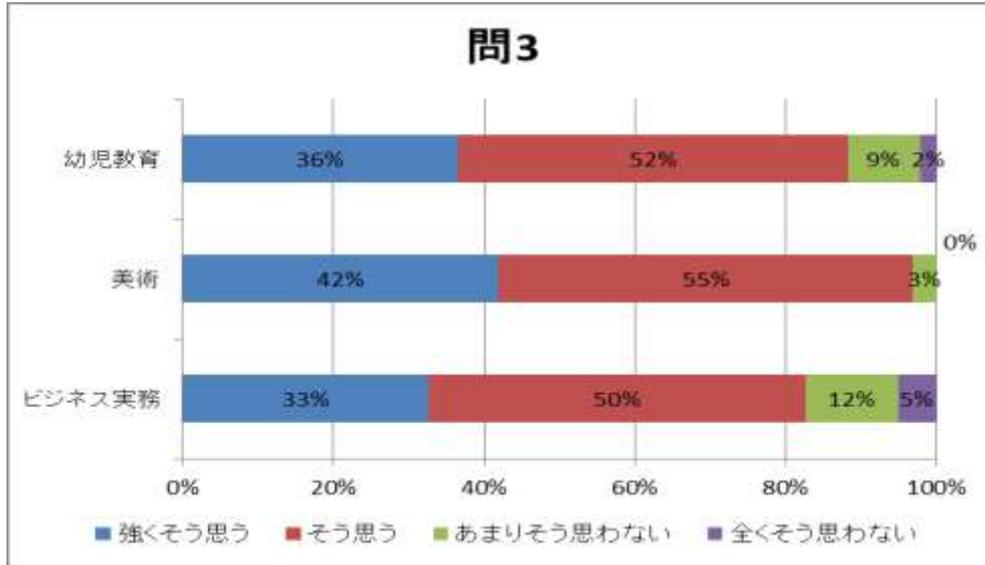
問2. 授業時間外の教員の対応に満足できた



幼児教育学科、美術学科では90%以上、ビジネス実務学科では86%の学生が肯定的回答を選択している。しかし、ビジネス実務学科では10%以上の学生が否定的回答であることから、授業時間外の支援について検討が必要である。

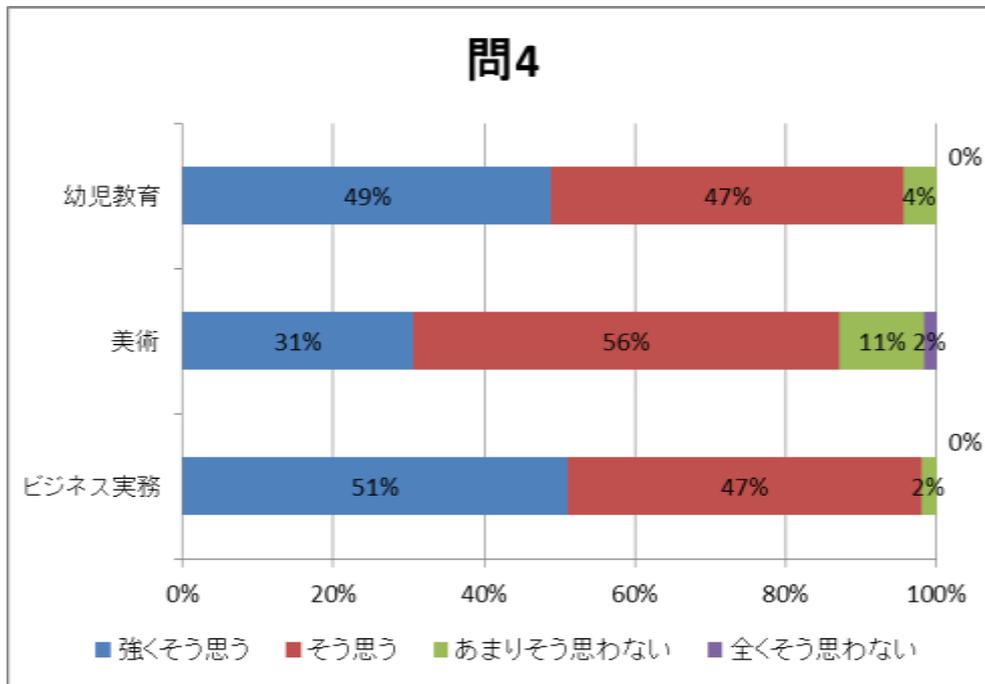
【学校生活支援について】

問3. クラス担任の対応に満足できた



幼児教育学科では88%、美術学科では97%、ビジネス実務学科では83%の学生が肯定的回答を選択している。しかし、幼児教育学科、ビジネス実務学科では10%以上の学生が否定的回答であることから、クラス担任の対応について改善の検討が必要である。

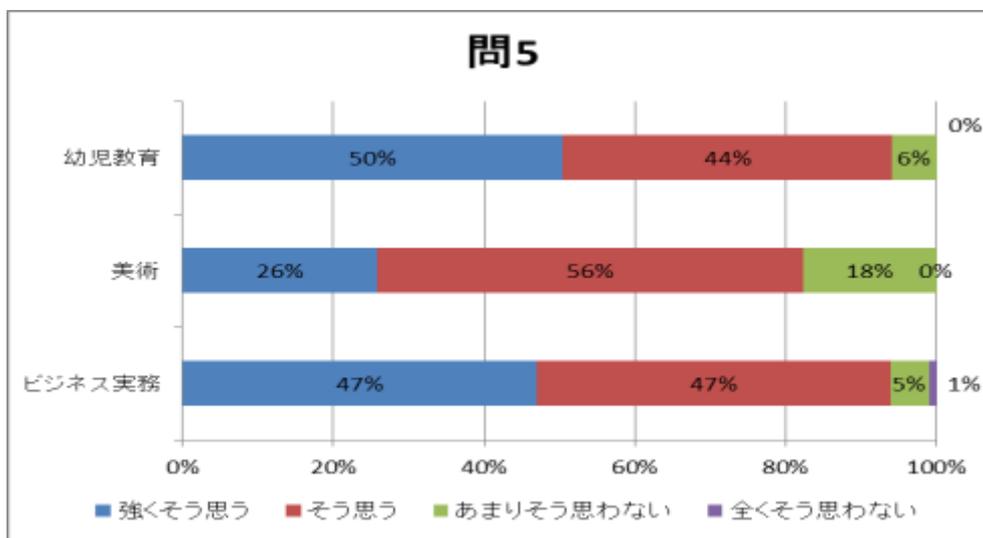
問4. 事務窓口の対応に満足できた



幼児教育学科、ビジネス実務学科で90%以上の学生が肯定的回答を選択していることから、概ね事務職員の対応に満足しているといえる。しかし、美術学科では10%以上の学生が否定的回答であることから、事務職員の対応について美術学科特有の課題があると推測する。

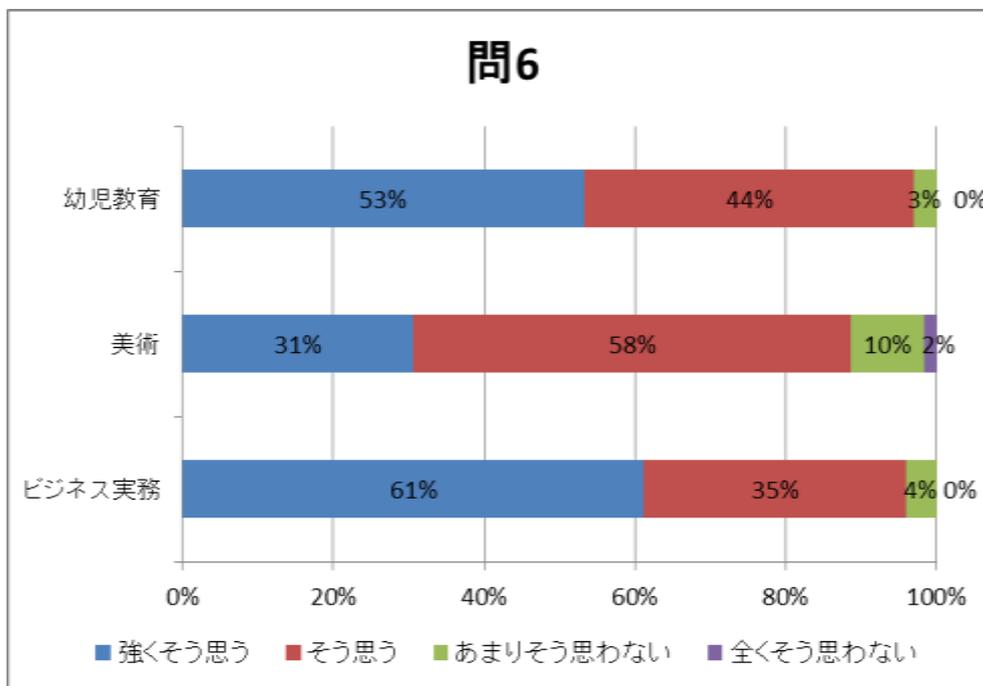
【就職進学支援について】

問5. 就職進学に向けた学科の取組みや教員からの支援・指導に満足した



幼児教育学科、ビジネス実務学科で90%以上の学生が肯定的回答を選択していることから、概ね満足しているといえる。しかし、美術学科では10%以上の学生が否定的回答であることから、支援のあり方について美術学科特有の課題があると推測する。

問6. 就職進学支援室での職員の対応を含む支援に満足した

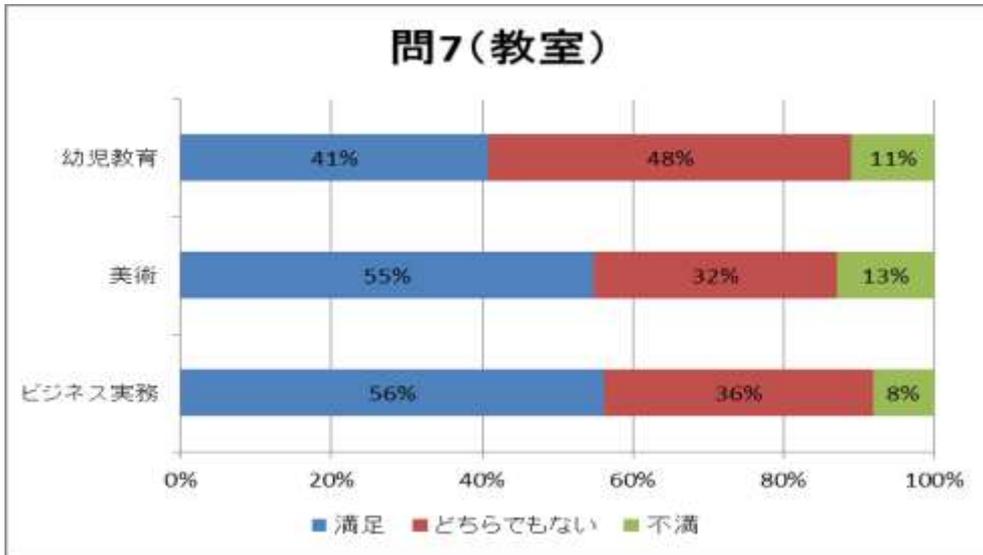


幼児教育学科、ビジネス実務学科で95%以上の学生が肯定的回答を選択していることから、概ね満足しているといえる。しかし、美術学科では10%以上の学生が否定的回答であることから、支援のあり方についてやはり美術学科特有の課題があると推測する。

【キャンパス環境・施設・設備について】

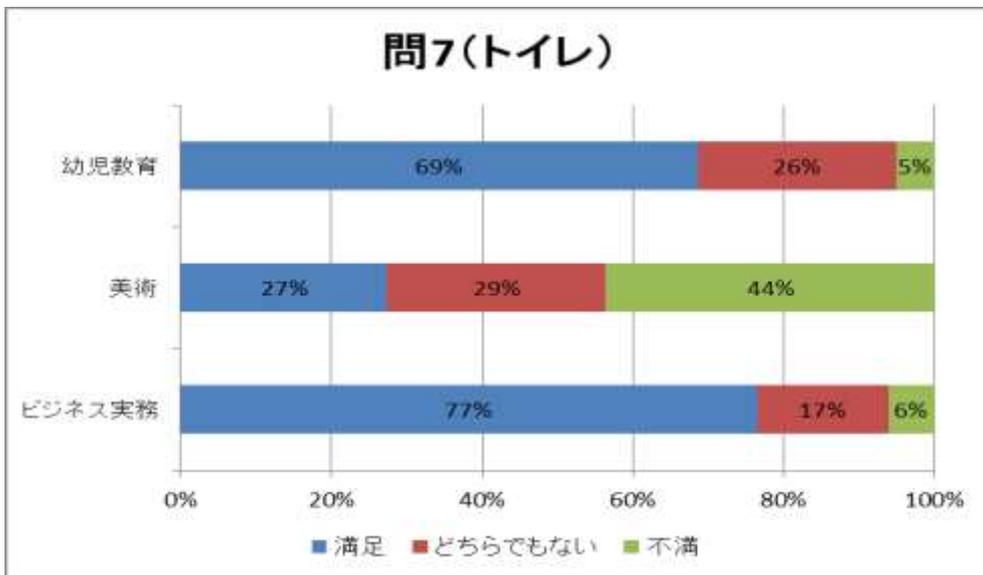
問7. キャンパス環境・施設・設備に満足できた

■教室



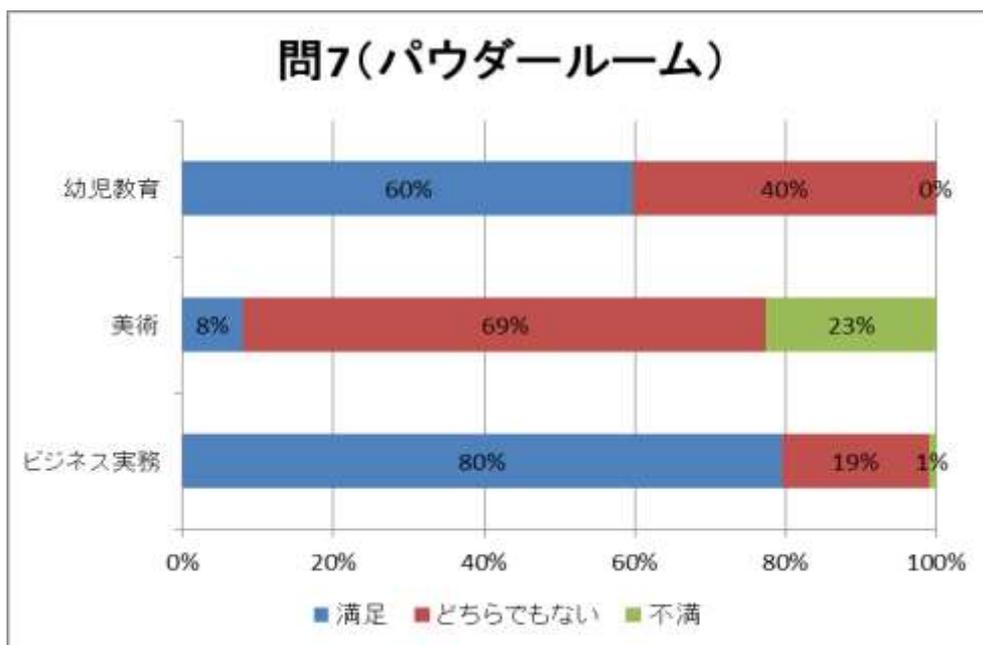
肯定的回答は幼児教育学科 89% (前年比+14%)、美術学科 87% (前年比+5%)、ビジネス実務学科 93% (前年比+6%) であり、全学科で昨年と比べて増加している。2017年度に本館、2018年度に美術学科棟の空調改修工事が満足度の増加に繋がったと考える。

■トイレ



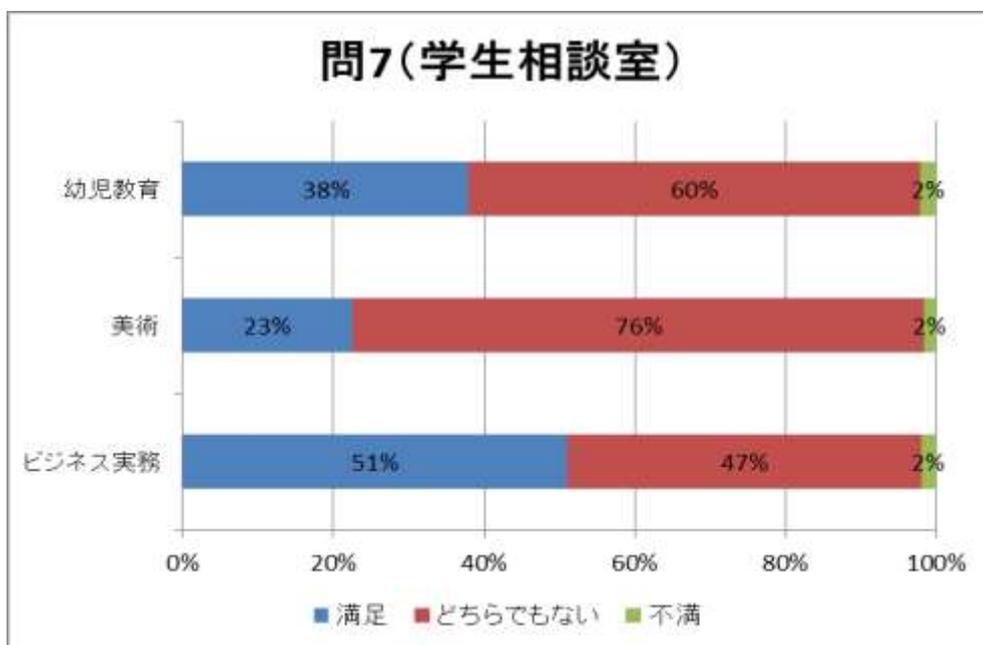
肯定的回答は幼児教育学科 95% (前年比+36%)、美術学科 56% (前年比-18%)、ビジネス実務学科 94% (前年比+56%) であった。2018年度に本館トイレを和式から洋式へ改修する工事を行った結果、幼児教育学科とビジネス実務学科では大きく改善されたが、美術学科では否定的回答が増加した。これは、美術学科棟トイレに外側から見えないよう増築した壁と関係があると考え、何からの対応を検討する必要がある。

■パウダールーム



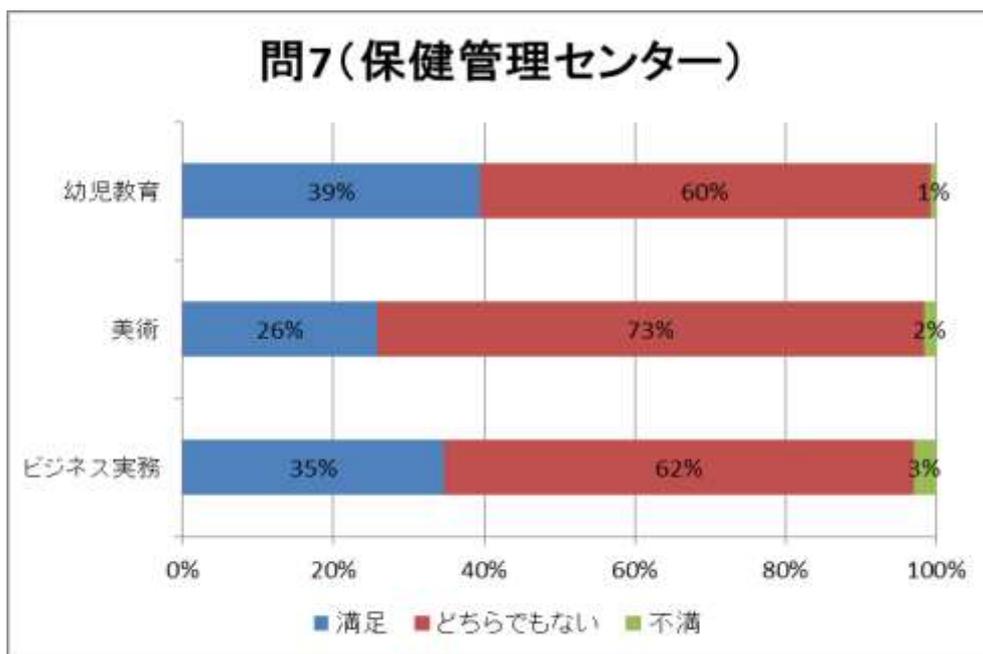
2018年度に第一食堂付近に新設したパウダールームについて、幼児教育学科、ビジネス実務学科では「満足」の割合が大きいが、美術学科では「どちらでもない」が69%の割合を占めている。これは美術学科学生が利用する機会が少ないためと考える。

■学生相談室



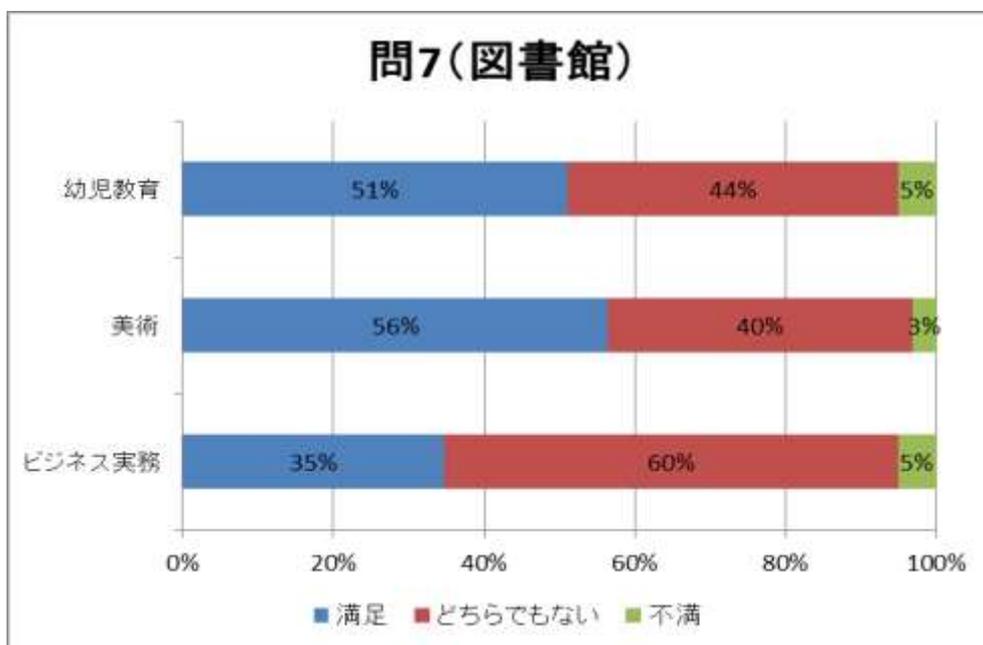
ビジネス実務学科では「満足」が昨年の16%から51%へ増加している。全学科で「どちらでもない」と回答している割合が多いが、個人的に相談が必要な一部の学生が利用するためと考える。

■保健管理センター



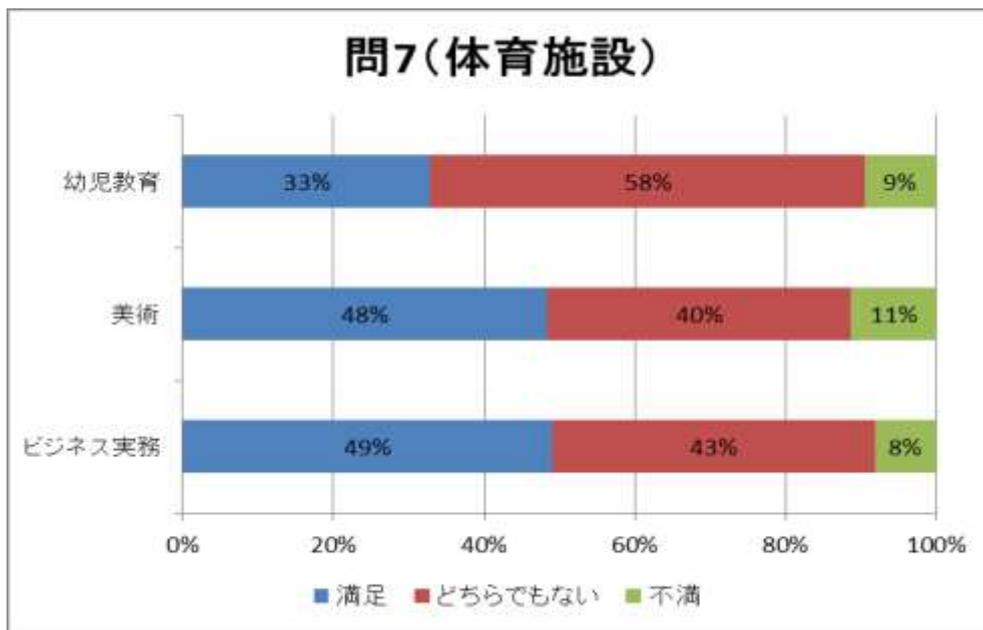
「満足」は幼児教育学科39%、美術学科26%、ビジネス実務学科35%であり、全学科で「どちらでもない」が大半を占めている。これは、学生相談室と同様、利用する学生が少ないため、と考えられる。

■図書館



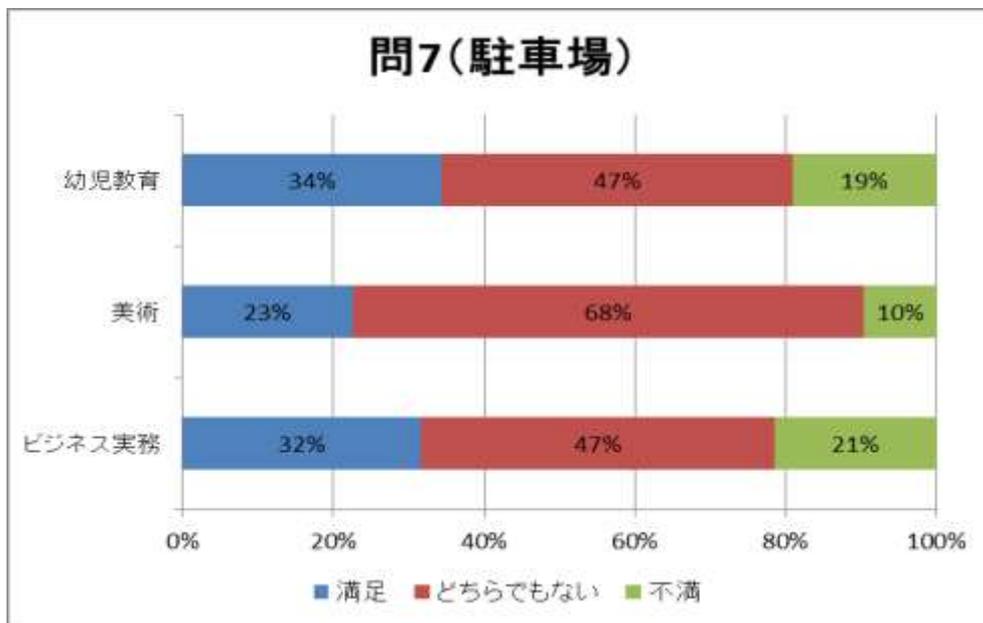
「満足」は幼児教育学科51%（前年比+18%）、美術学科56%（前年比+2%）、ビジネス実務学科35%（前年比+17%）と、全学科で満足度が増加した。図書館の利用促進のために、授業等で活用する機会が増えたためと考える。ただし、ビジネス実務学科では「満足」の割合がまだ低く、更なる利用促進と改善が必要と考える。

■ 体育施設（日光アリーナ・多目的グラウンド・陸上競技場・テニスコート等）



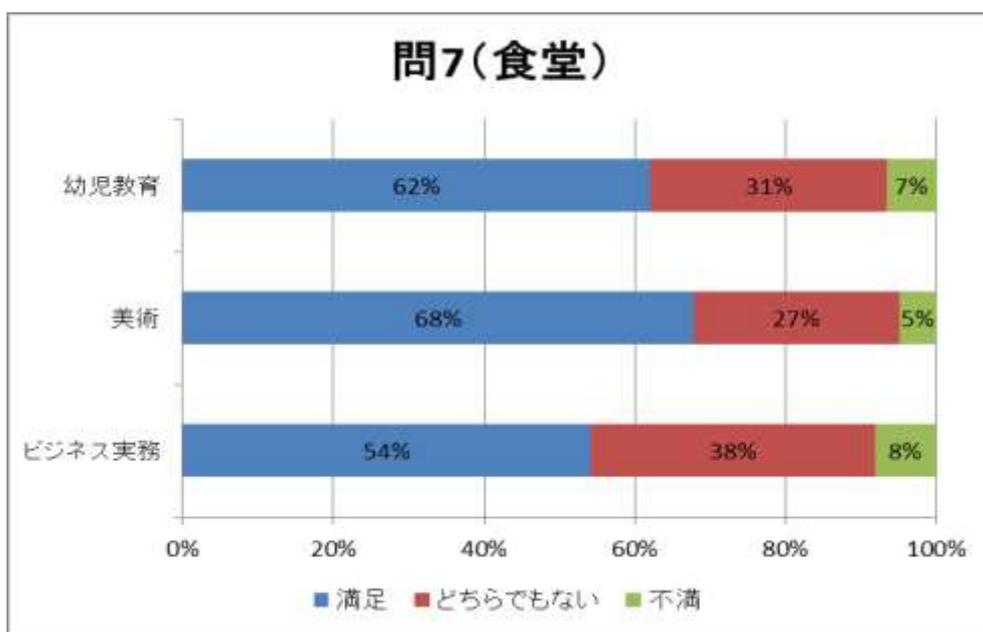
体育の授業やクラブ・同好会活動を中心に利用されていることから、「どちらでもない」の割合が多い。より利用しやすい体育施設となるよう工夫を加えたい。

■ 駐車場



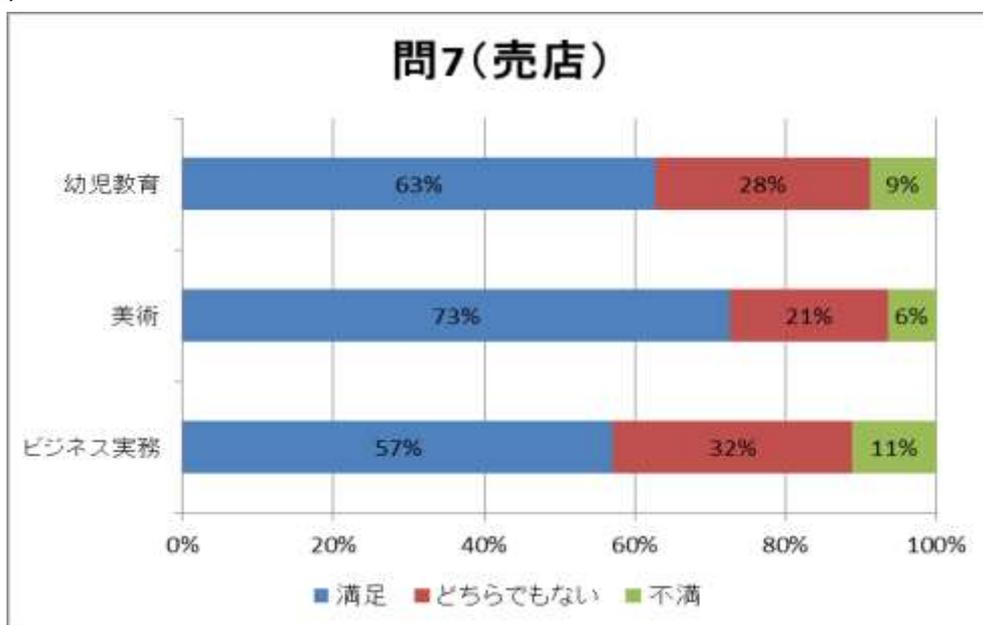
昨年と比べ、全学科で「満足」の割合が増加し、「不満」の割合が減少した。全学科で「不満」が10%以上となっているが、これは短期大学棟から駐車場が遠いことによると考える。

■食堂



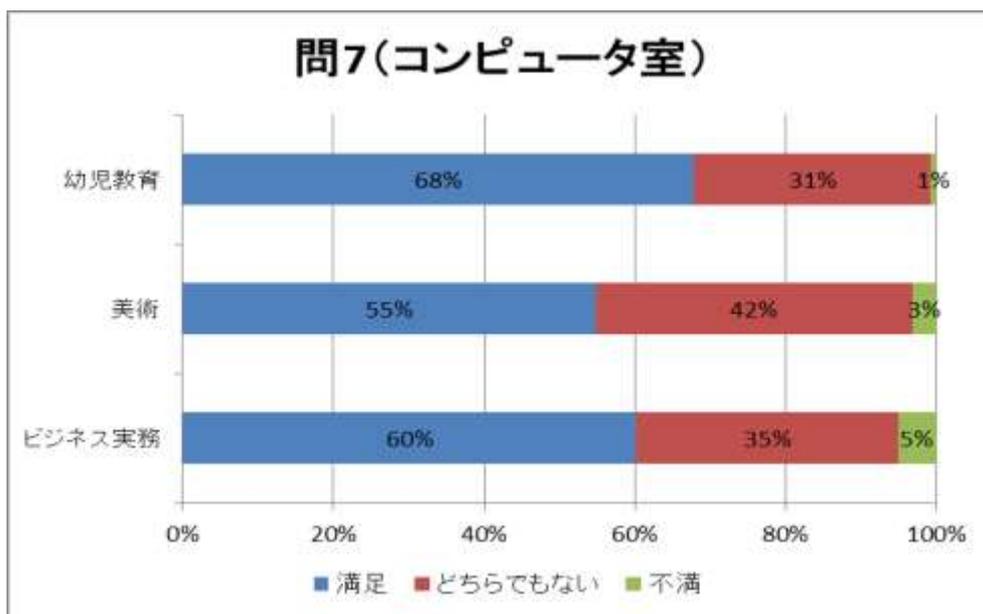
「満足」は幼児教育学科66%（前年比+25%）、美術学科67%（前年比+13%）、ビジネス実務学科51%（前年比+13%）と全学科で満足度が増加した。全学科で半数以上の学生が食堂について「満足」と回答しているが、今後も満足度向上のための取組を検討したい。

■売店



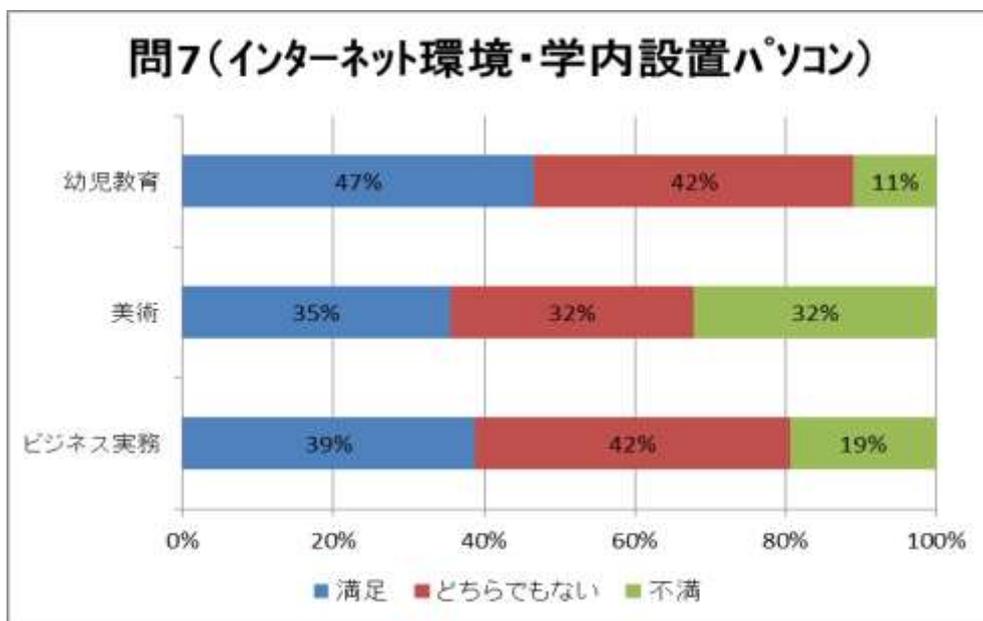
「満足」は幼児教育学科63%（前年比+23%）、美術学科73%（前年比+19%）、ビジネス実務学科57%（前年比+20%）と全学科で満足度が増加した。売店の営業時間延長など可能な限り対応をしているが、「不満」の大半が、短期大学棟から売店が遠いことによると考える。

■コンピュータ室



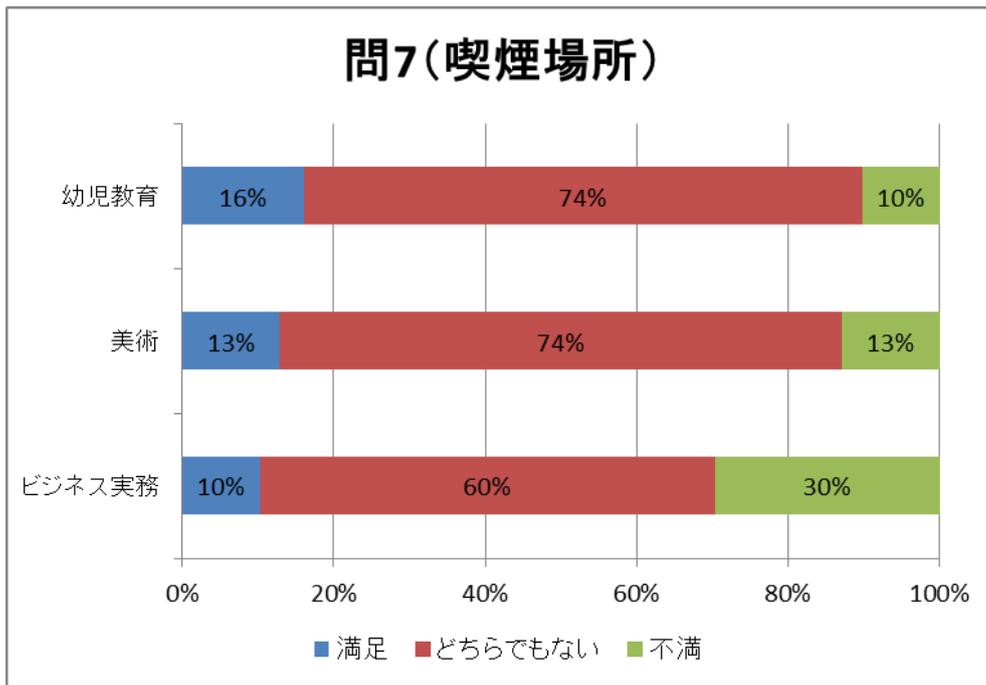
全学科で「不満」と回答している割合が5%以下であり、コンピュータ室に対して不便を感じていないことが伺える。設備だけでなく、操作がわからない時の指導など、きめ細かい対応が本結果に繋がっていると考える。

■インターネット環境・学内設置パソコン



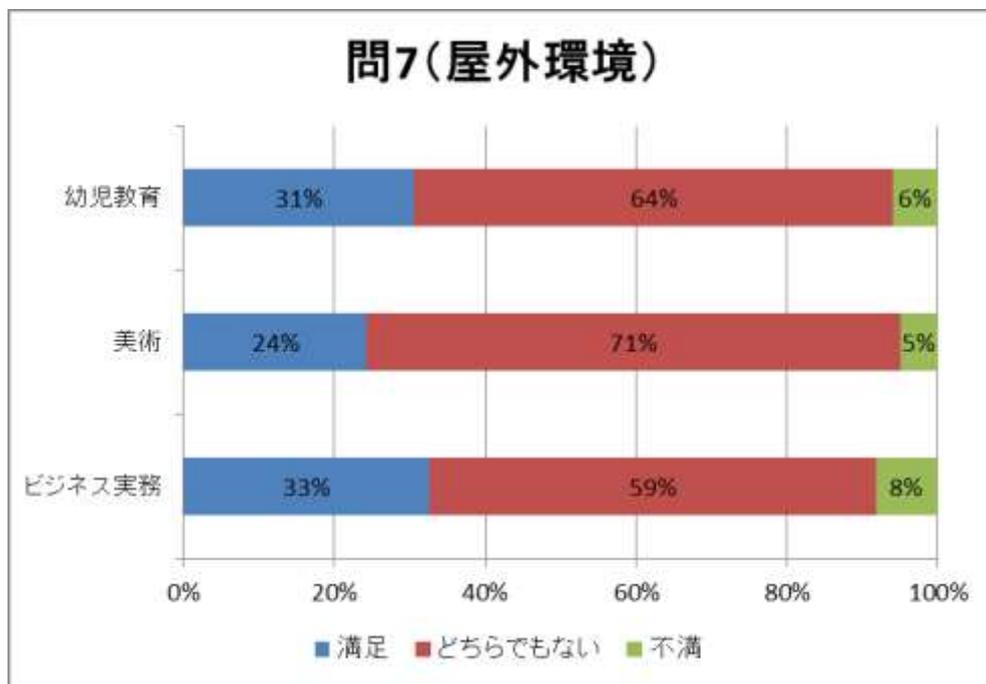
ビジネス実務学科と美術学科で「不満」と回答している割合が多い。学生のインターネット接続機器の大半がスマートフォンであり、Free Wi-Fi の環境拡充を希望する学生が多い。また、現在の Free Wi-Fi 対応可能場所は学生の認知度が低く、丁寧な周知が必要である。

■喫煙場所



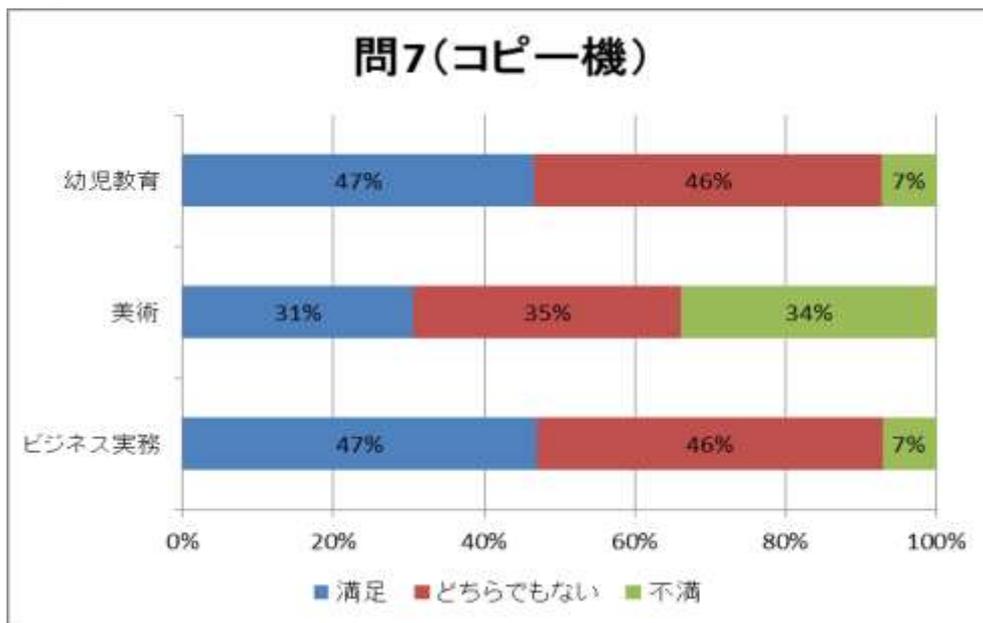
利用する学生が少ないことから、「どちらともいえない」の回答が大半であった。

■屋外環境 (ベンチ、芝生等)



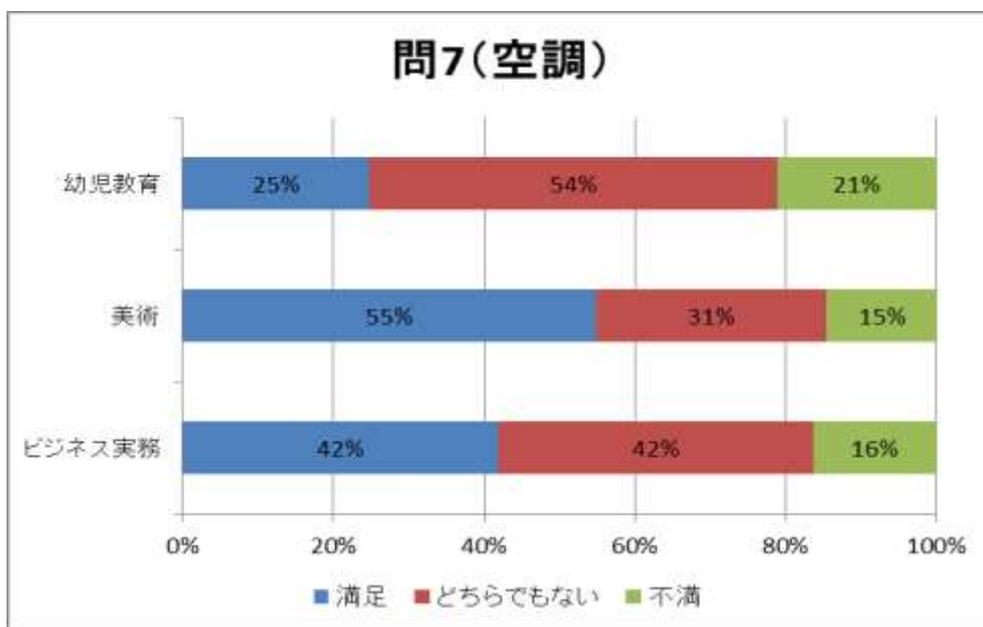
全学科で「不満」の割合は少ないが、「どちらともいえない」の割合が多い。卒業記念植樹等を通じて、屋外における緑の環境の充実など、より快適な屋外環境の整備を図りたい。

■コピー機



美術学科で3割を超える学生が「不満」と回答している。自由記載では具体的な要望はなかったが、1年生の調査結果における自由記載ではコピー機が不調になりやすいとのコメントがあったため、定期的なメンテナンスを徹底したい。

■空調

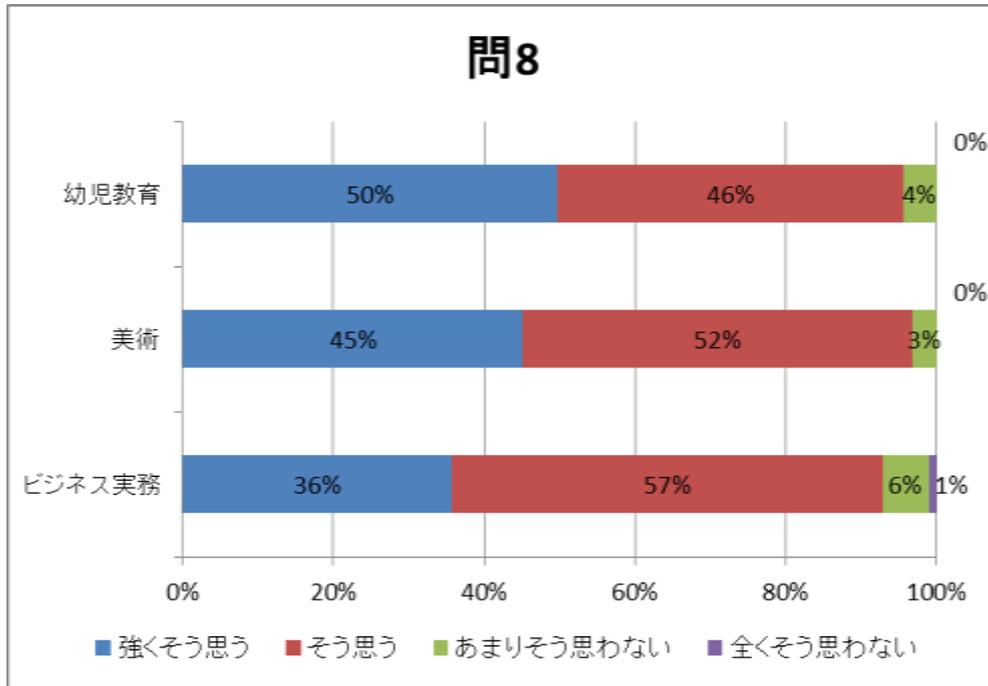


「満足」は幼児教育学科25%（前年比+6%）、美術学科55%（前年比+4.5%）、ビジネス実務学科42%（前年比+2.6%）と、全学科で満足度が増加した。2018年度の短期大学棟空調工事により、満足度が増加したと考える。

【短大生活の総括】

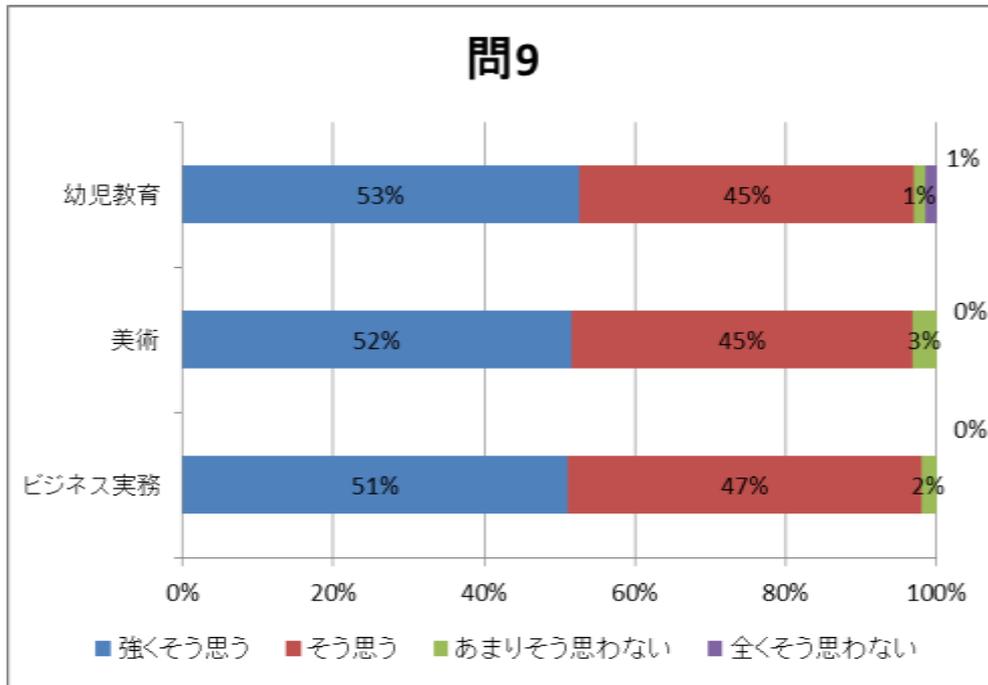
① 2年間の学修成果について

問8. 幅広い教養が身についた



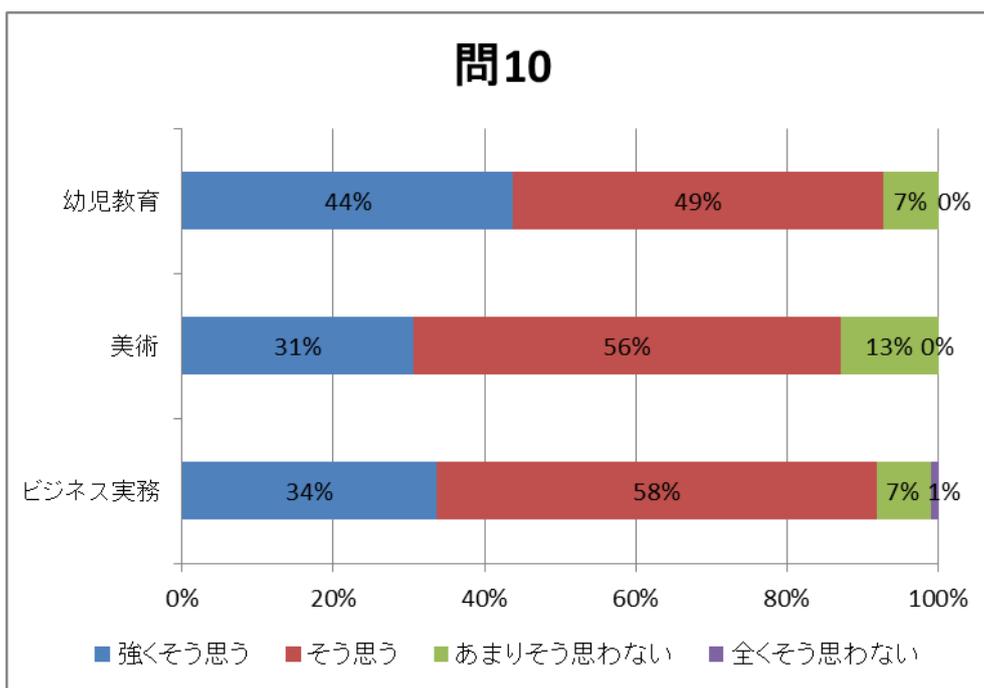
全学科で90%を超える学生が肯定的回答をしており、満足度は高い。

問9. 将来に役立つ知識や技能が身についた



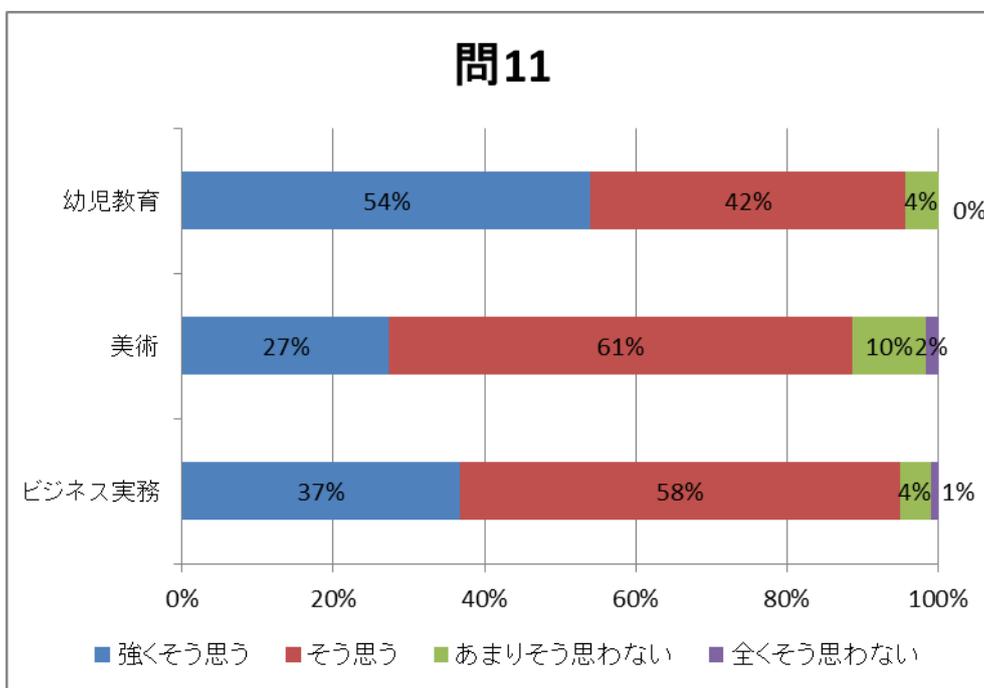
全学科で95%を超える学生が肯定的回答をしており、満足度は高い。

問10. 地域社会への視野が広がった



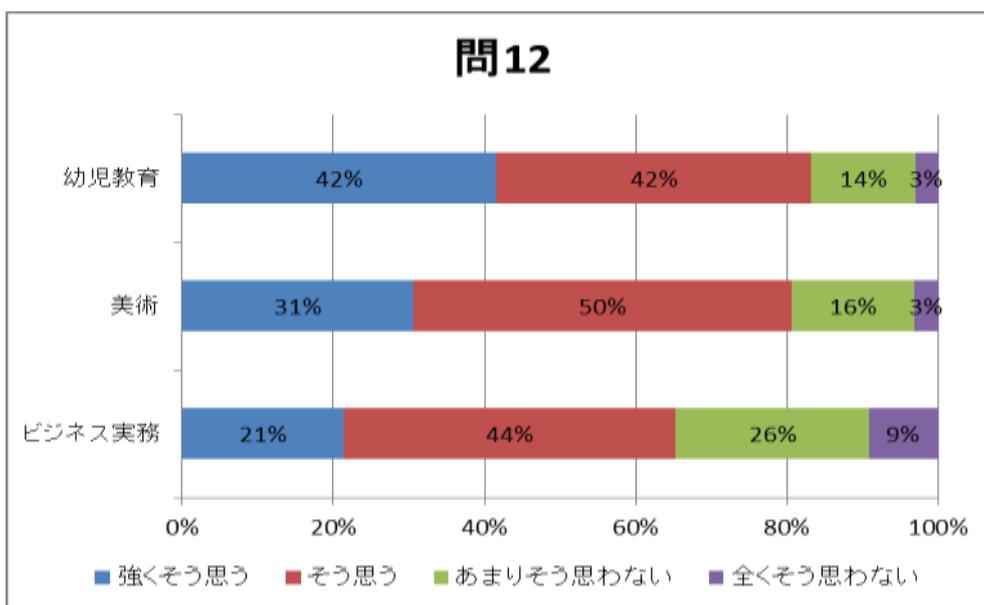
全学科で85%を超える学生が肯定的回答をしている。今後も地域社会に関する授業や活動を積極的に取り入れ、満足度を高めたい。

問11. 他者と協調・協働する力が身についた



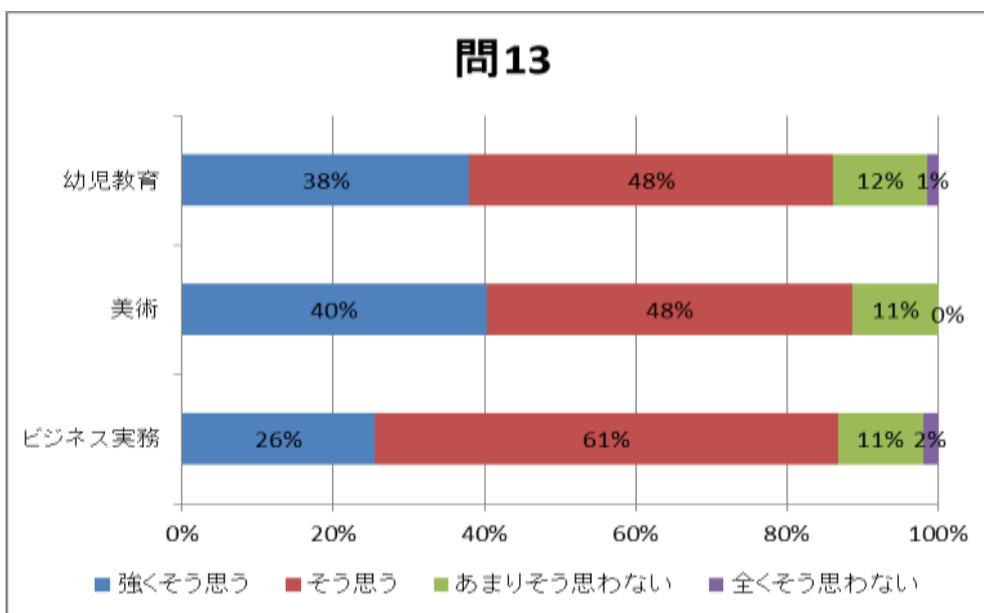
全学科で85%を超える学生が肯定的回答をしている。今後も他者と協調・協働する授業や活動を積極的に取り入れ、満足度を高めたい。

問12. 忘れられない感動的な授業があった



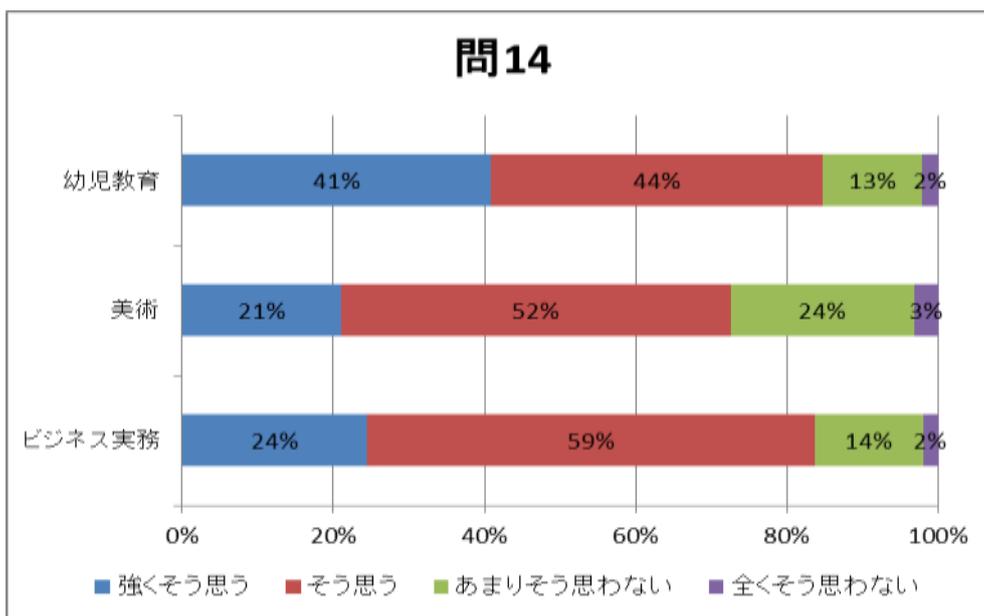
幼児教育学科 84%、美術学科 81%、ビジネス実務学科 65%の学生が肯定的回答をしている。授業を通じて深い人間教育を実践するべく、今後もより人間性がにじみ出る授業のあり方について、検討が必要である。

問13. 自ら課題に取り組む姿勢が身についた



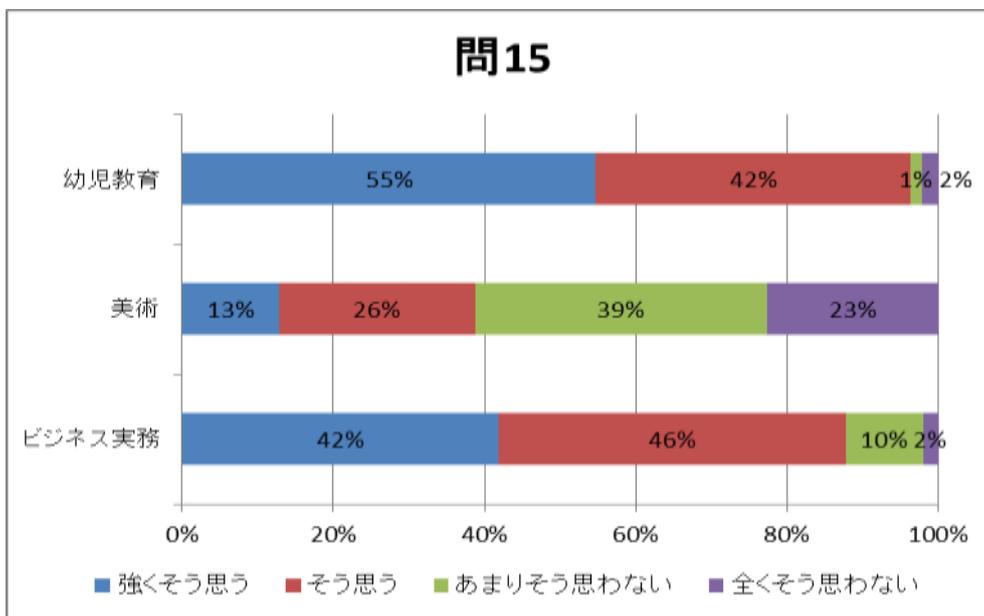
全学科で85%を超える学生が肯定的回答をしている。実習や特化教育、公開オーディション等の学外者との関わり、また発表やプレゼンテーションを行っていることで、自発的に学びに向かう姿勢が身についたのだと考える。

問14. 入学時の目標を達成できた



肯定的回答は幼児教育学科 85%、美術学科 73%、ビジネス実務学科 83%であった。ビジネス実務学科では、取得・合格を目指す資格・検定に個人差があるが、全学科において肯定的回答が増加するよう支援を深めたい。

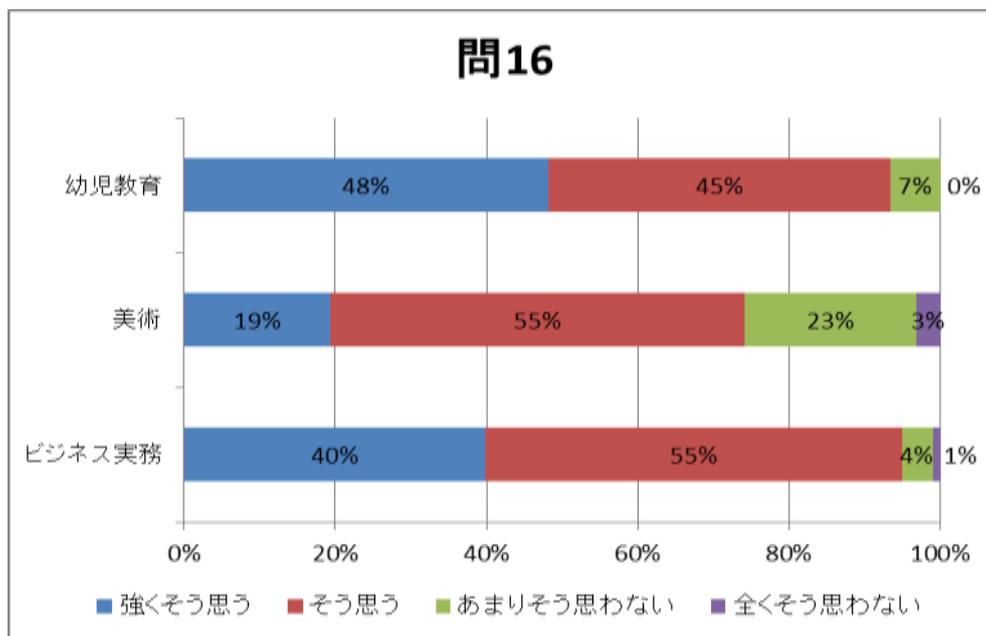
問15. 希望する資格が取得できた



肯定的回答は幼児教育学科 97%、美術学科 39%、ビジネス実務学科 88%であった。美術学科に関しては資格取得を主目的としていない学生が多いことから、半数以上の学生が否定的回答になったと考える。

②進路について

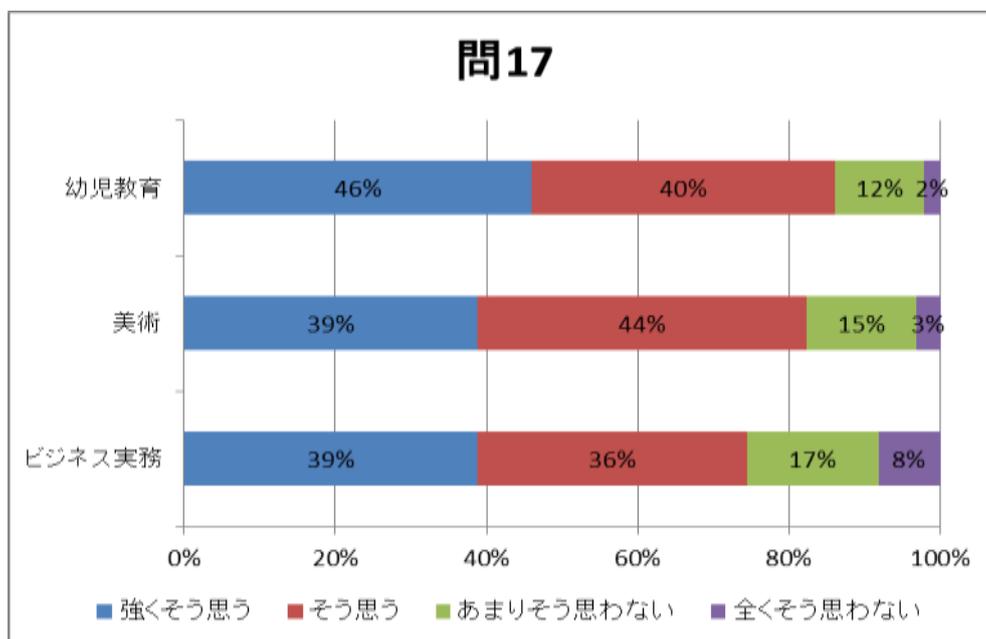
問16. 卒業後の進路に納得している



幼児教育学科とビジネス実務学科では90%以上の学生が肯定的回答を選択していることから、卒業後の進路についての満足度は高い。美術学科については、適切な進路選択ができるよう相談支援体制を強化する必要がある。

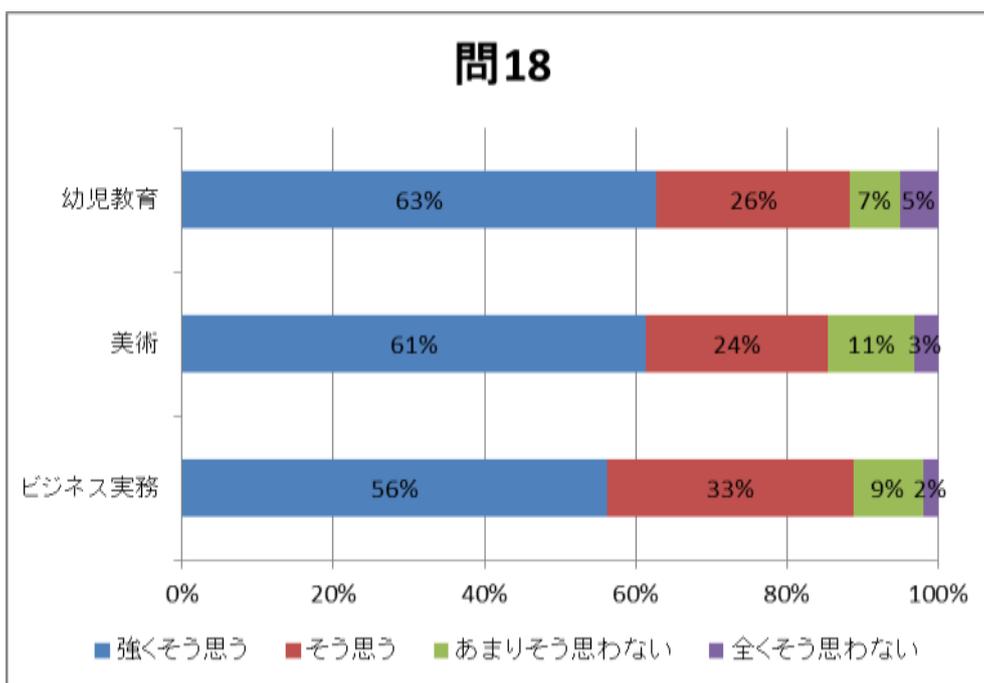
③学校生活について

問17. 自身の模範となるような教職員に出会えた



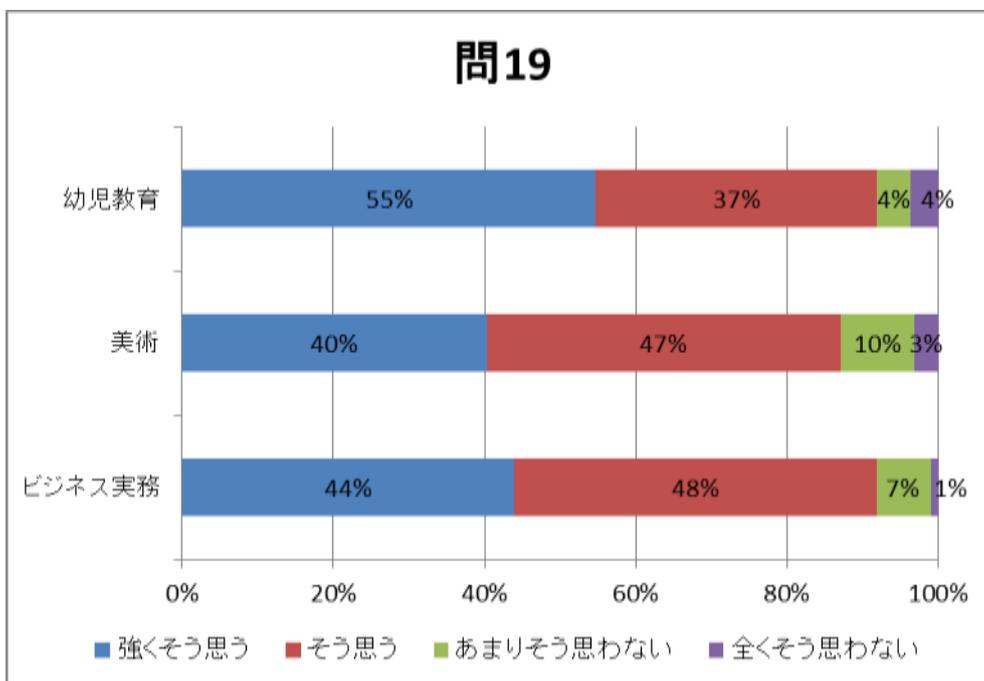
全学科で75%以上の学生が肯定的回答をしていることから、教職員は学生に良い影響を与えられている結果となった。

問18. 親友と呼べる友人に出会えた



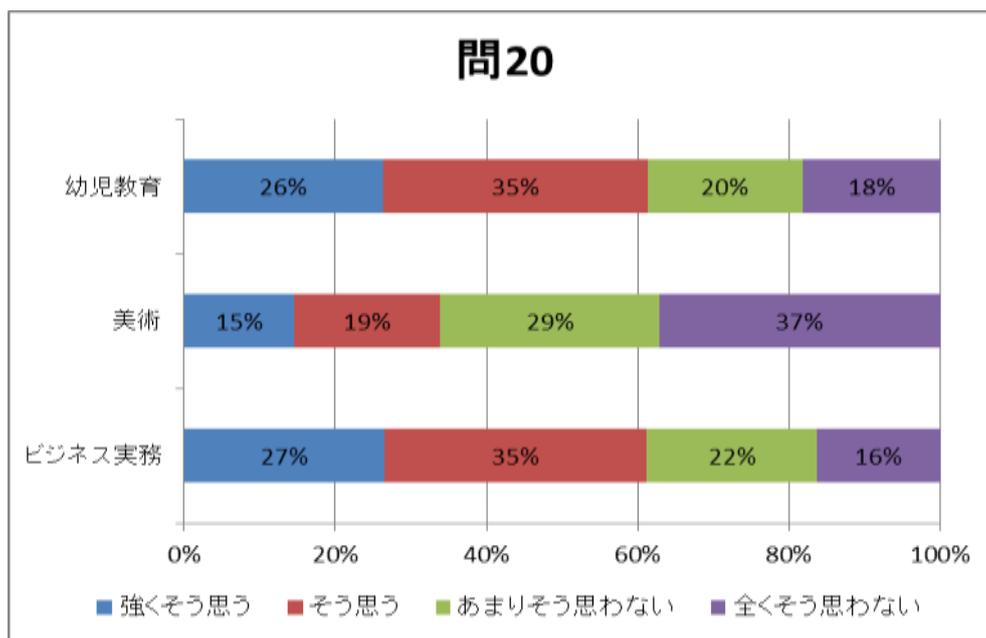
全学科で85%を超える学生が肯定的回答をしている。クラス制であり授業以外の時間も一緒にいることが多く、学生間の繋がりが非常に強くなることによると考える。

問19. 学内行事が充実していた



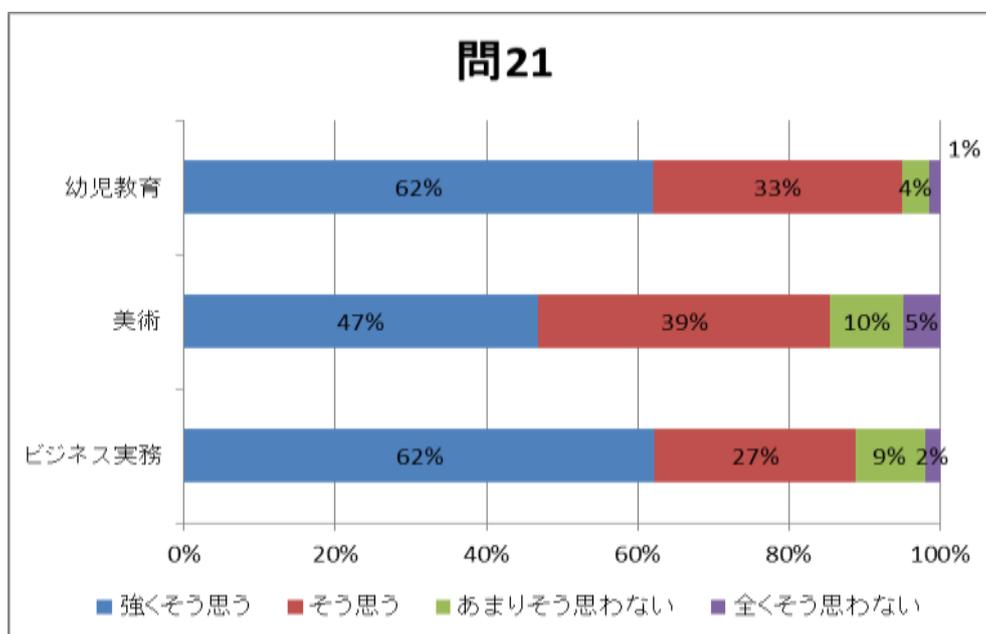
全学科で85%を超える学生が肯定的回答をしており、満足度は高い。2019年度の体育祭は、内容を一新して学生全員が楽しめるような内容に変更することを計画しており、更なる満足度の向上を図りたい。

問20. 部活動・サークル活動が充実していた



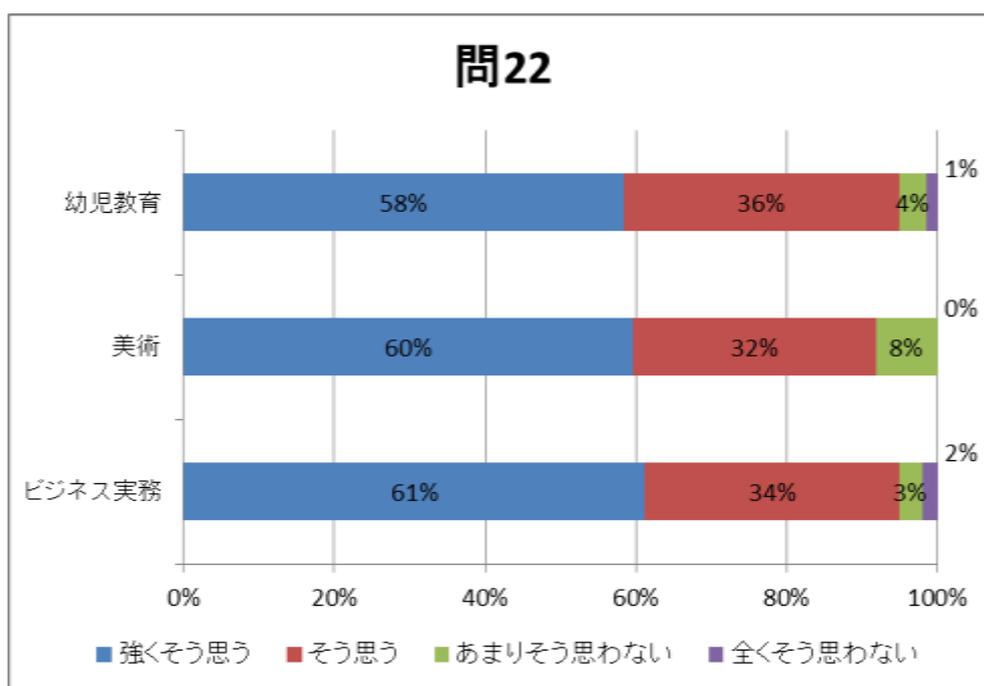
クラブ・同好会に所属している学生は140人と少ない。否定的回答が多いのは、アルバイト等のためクラブ・同好会に所属しない学生が多いことが考えられる。予習復習、実習、資格試験勉強、作品制作等で忙しい中でも、積極的に活動しているダンス部や児童文化研究会、地域間交流研究会などもあり、充実した活動を広く紹介していきたい。

問21. 不安や悩みを相談できる相手がいた



全学科で85%を超える学生が肯定的回答をしており、満足度は高い。相談相手がいない少数の学生に対しても、クラス担任を中心として、教職員全体で支援を行いたい。

問22. 全体として短期大学生活に満足した



肯定的回答は幼児教育学科95%、ビジネス実務学科96%、美術学科91%と満足度は高く、半数以上の学生が「強くそう思う」と感じている。2年間の学生生活を通して、大半の学生が短大生活に満足している結果となった。

Ⅲ. 自由記載

幼児教育	2年間楽しかったです！ありがとうございました！！
	あっという間の二年でした(; ∇ ;)楽しかった
	ありがとうございました。2年間たくさん学べました。たくさんの笑顔が生まれることが出来ました。このクラスでよかったと思える2年間でした。好きなピアノを上達することが出来たし、特化で学べたことは無駄にはならないんだと信じて頑張っていきたいです。インフルでミュージックフェスティバルには出れませんでした。練習からよいチームワークだったと思うので楽しくできました。2年間楽しかったです。
	この学校にきて良かったと思います。多くのことを学びました。
	トイレの手を乾かす機械の風をもっと温かくしてほしい。
	とても楽しい2年間でした、ありがとうございました。
	ユニークな友達がいる良かったです。
何かと不満に思うことが多くあったが、「わがままだ」というように言われてしまっから、あきらめていた部分が多い。幼教だからと言って、北陸三県のみにとどまった就活支援をしているといつかは終わりが来ると思う、学校の評価的に県内の園に行つてほしいのは分かるが、視野を広げて、県外へ就職をしたい人のためにももっと優しく支援してほしい。	

幼児教育	教室に収納スペースがほしい。2年間ありがとうございました。
	金城短大でよかった！
	駐車場についてもっと厳しくしてもいいのでは？と思います。
	二年間ありがとうございました。
美術	養成校として強い期待をもって入学したが、あまりのクラスの授業態度に驚いた。真剣にもっと学ぶことができる環境だったらもっと学校がよくなると思う。
	[キャンパス環境・施設・設備に満足できた]には、使用したことがないも選択肢に入れて欲しいです。それから今年美術学科棟トイレ前に壁ができましたが。あれのおかげで衝突事故が増えたので残念です。
	いろんな経験ができてよかったです。社会に出てからもっと頑張ろうと思います。ありがとうございました。
	パスタランチができたので食堂にフォークをいれるべきだと思います。
	よい学校でした！不満は美術学科のレベルがほかの学校に比べて低いのでは？と感じて不安に思うことがありました。
	雨漏りとビジネス幼教学生の騒音をなんとかしてほしかった
	短大生活が楽しすぎて卒業したくないけど、頑張ります。
	友達がいたから楽しかった。
幼教やビジネス等のトイレは比較的きれいなのに美術棟の設備だけが汚い。なぜトイレの入り口に謎の壁を設置したのか。邪魔。女子トイレから出る際にいやでも男子トイレの中が見える。改悪しないでほしい。	
ビジネス実務	2年間楽しかったです
	アリーナのトイレがくさかった。短大に売店がないのが大変。
	たのしかった
	楽しかったです。
	喫煙所の場所の移動。
金城最高！	

※なお、個別に教職員に対するコメントや不適切な表現を含むコメントは削除しています。

IV. 今年度の結果について（30年度）

昨年と比較して、学生全体数のアンケート調査の回収率が減少した。学科によって回収率の増減があったことから、学生への周知を徹底しなければならない。

全体を通して『問2. 全体として短期大学生生活に満足している』の回答では、全学科において、肯定的回答の割合が高く自由記載の意見から見ても、2年間を通して充実した学生生活であったことが伺える結果となった。

各設問では、『問1. 2年間のカリキュラムに満足できた』『問2. 授業時間外の学習支援は満足のものだった』については、幼児教育学科と美術学科は否定的回答が少なく学生の満足度が高い傾向にあるが、ビジネス実務学科では、1割程度の不満があるとの結果となった。ビジネス実務学科は幼児教育学科および美術学科に比べ、学習分野の幅が広いことから学生の目標設定が定まりにくいことが影響していると考えられる。

『問7. 教室・トイレ・駐車場』については、これまで学生からの不満回答が多い項目であったが、満足度が大幅に増加した。教室は2018年度の空調改修工事を終えて、各教室で温度調整が可能となったこと、トイレは2018年度に和式から洋式に改修工事を行い、課題が改善されたことが満足度の向上につながったと考える。ただし、自由記載ではトイレに関する改善要望のコメントが数件あり、今後も継続的に改善を図る必要がある。

駐車場についても、2018年度に社会福祉学部棟側の砂利駐車場を一部舗装し、雨天時の水溜りは改善したが、駐車場の白線が消えかかり駐車しづらいという自由記載コメントもあることから、今後も継続的に整備点検を行う必要がある。

『問8. インターネット環境・学内設置パソコン』については、インターネット環境では、自由記載コメントを見てもFree-Wi-Fi設置の要望が多く、現状では学生の要望に答えられていない状況である。Free-Wi-Fiは、授業環境改善のための要望か、私的使用のための要望かを確認したうえで、他大学の取組みを参考に、今後検討を行う必要がある。

その他の自由記載では、ハード面に関する要望が多い結果となった。学生部は、学生へきめ細かに対応することで学生の学校生活でのニーズを正確に把握し、学生の学修環境および学生生活全般をさらに改善していきたい。